

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2010年5月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

# HIYAKU

第288号

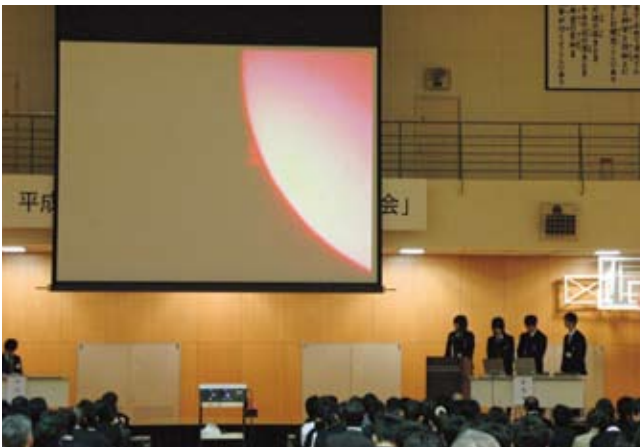
TOP\*NEWS

## SSH関東近県合同発表会開催

### 高輪カップ(男子バレーボール)開かれる



高等学校新生代表の村上地君と中等部新生代表の鈴木伶君による「入学の言葉」



SSH合同発表会  
アリーナで行われた全体会口頭発表(「黒点観測」)



SSH合同発表会  
廊下を埋めつくしたポスター発表

# 2010年度学校運営方針

夏休みのカナダ短期留学、全教科での研究授業・公開授業、中等部体育祭、中等部吹奏楽部定期演奏会、中等部ニュージーランド海外英語研修…このように大きく変化、改革を推進し続けている本校は4月の入学式で中等部90名、高校466名、昨年度を大きく上回る新入生を迎えました。全校生徒1,573名が、学習と部活動に全力で取り組んで欲しいと希望しています。

さて、昨年までの「重点目標」を今年度は「2010年度の重点目標」と「本校の取り組み」という形で2つに分けました。本校の教育のコアになる「重点目標」と、教育の質を高めるために具体的に働きかける「取り組み」とに分けることで、より目標を明確にしました。これから1年間、教職員一同「2010年度の重点目標」と「本校の取り組み」に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

## 今年度の「重点目標」

- (1) 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる
- (2) いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる
- (3) 教員は生徒に必要な学習内容を、授業時間内での工夫によって十分理解させると共に、学習習慣を身につけさせる

## 本校の取り組み



来月号からの『飛躍』で、これらの改革への取り組みを詳しくお知らせしていきたいと思えます。

# ようこそ高輪台高等学校・中等部へ

## 高校新入生

### 期待と不安を胸に

#### 村上 来地

1年1組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私はこれからの高校生活で「人とのつながり」を大切に、それを深めていきたいと思っています。他の人と本当に信頼し合えるようになるのは非常に難しいことです。制服の「ネクタイの結び方」を習得するのに苦労した人も少なくないでしょうが、それをほどくのにそれほど困る人はいないでしょう。他人との関わりもこれと同じで、関係をほどくのは面白いほど簡単で、それを結ぶのは比べようもなく難しいものです。人を喜ばせたり感動させたり、そして信頼を得たりするには時間がかかります。また、人に優しく接したつ

もりでも、相手にその通り受け取ってもらえないこともあります。逆に人を怒らせることはとても簡単なことです。

これからの高校生活で、じっくりと時間をかけて仲間との友情関係を築いて、それをネクタイの結びのように簡単に解かないようにしたいと思います。また、自分と多少感性の違う人たちとも仲良くなれるようになりたいです。さらに、先輩方や先生方とも素敵な関係を作っていければと願っています。

## 中等部新入生

### 中等部生として

#### 鈴木 怜

1年A組 世田谷区立城山小学校出身

僕は学校説明会に訪れて、理科に力を入れている学校で、楽しい実験をたくさんしたいと思い、入学を希望しました。

中等部は小学校と違い、いろいろなことが変わります。勉強面では、算数が数学に変わり、新しく英語が始

まり、教科毎に先生が変わります。その中でも僕が特に頑張りたいのは英語です。中等部を卒業するまでには英語で話せるようになりたいです。部活動は入学前からサッカー部に入ろうと決めていました。中等部ではサッカーボールが4号球から5号球に変わるので、入部前から5号球でボールを蹴って練習をしていました。

これからは東海大学付属高輪台高等学校中等部の生徒として恥じることはないように、新しい友達と一緒に一生懸命頑張りますのでよろしく願います。

## 歓迎の言葉



### 期待と不安を胸に

高校生徒会会長

#### 小林 一貴

3年1組 川崎市立平間中学校出身

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式での皆さんの姿を見ながら、僕も2年前はあの席に座って、学校生活が上手くやっていけるかという不安と、どの様な先生や友達に出会えるのだろうという期待でいっぱいだったことを思い出しました。あれから2年経ったのだと思うと、時の経つのはあっという間です。時の流れを早く感じるのは、学校生活を一生懸命取り組んでいた証拠だと思います。入学直後は不安でいっぱいでしたが、クラスで行われるスポーツ大会や建学祭を通して、友達と絆を強めることができました。

この3年間で、楽しいことも苦しいこともあると思いますが、先生方や友達の協力を得ながら、たくさんの楽しい思い出を高輪台で作ってください。僕たち生徒会役員は、皆さんの先輩として、楽しく充実した時間を過ごすための手助けをしていきたいと思っています。



### 楽しい中等部生活を!

中等部生徒会会長

#### 渡邊 陵太

3年B組 さいたま市立中島小学校出身

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは中学生になり新しいスタートを切りました。電車での通学や定期試験など、小学校の生活とは全く違う生活をこれから送ることになりますが、生活環境が変わる時こそ自分をリセットするチャンスです。皆さんがこの学校に入ったのにはいろいろな理由があると思います。「有名な吹奏楽部で素敵な演奏をしたい」とか、「SSHに指定されているから理科を頑張りたい」など、たくさんあると思います。ぜひ高輪台で何か1つでも頑張れたと胸を張って言えるものを作ってください。そして皆さんが中等部生活を楽しく送ってくれることを願っています。

いろいろと不安なことは多いと思いますが、高輪台にはとても親切な先生方や先輩がいます。困ったことがあったら僕たちはいつでも皆さんの力になるので、安心して学校生活を送ってください。

# 中等部1学年だより

4月2日に入学式を終えた後、4月7日～9日まで静岡県三保でオリエンテーション合宿に行ってきました。入学して間もない時期に行ったため、皆最初は不安だったようです。しかし、苺狩りや藍染めなどたくさんの体験を楽しむ中で多くの友達を作ることができたようです。これからも友達を大切に、充実した中等部生活を送ってほしいと思います。

## オリエンテーション合宿で学んだこと

**岡田 拓海**

1年A組 台東区立蔵前小学校出身

3日間行ったオリエンテーションで特に印象に残ったのは、海洋科学博物館でした。僕は魚を見るのも食べるのも大好きなので、合宿に行く前からとても楽しみでした。

興味をひかれたのはカクレクマノミでした。昼間は普通に泳いでいるのに、夜になると集まって、どんどん中に向かって泳いでいました。僕はその習性にとても興味を持ちました。そして嬉しかったことは、友達がたくさんできたことです。「友達がちゃんとできるかな?」と入学前から心配でしたがこの3日間の合宿で、その不安は全て吹っ飛びました。

いろいろな友達と仲良くなったので、これからも3年間友達を大切に、オリエンテーションで学んだたくさんのことを中等部生活での3年間に生かしていきたいと思います。

## 未来へのマラソン

**加藤 里紗**

1年B組 墨田区立両国小学校出身

楽しみにしていた入学式。でも周りは知らない人ばかりですぐに合宿もある。私は不安と緊張で一杯でした。でも実際に行ってみると、とても楽しく過ごすことができました。

オリエンテーションでの苺狩り、藍染め、自然史博物館の見学や海洋科学博物館の見学、いろいろな体験をしながら思い切って隣の人に話しかけてみました。「何について調べた?」「苺おいしかったね!」ほんのささいなことだけれど話ができ、仲良くなることができました。3日間はあっという間に過ぎ、帰る頃にはクラスの女子全員と友達になれました。とても嬉しかったです。

この合宿は私たちに友達の大切さを教えてくれました。この合宿がこれから始まる未来へのマラソンのウォーミングアップだと思います。準備もでき、皆が同じスタートラインに立つ。これから、勉強や部活動、そして多くの思い出を作りながら未来へ向かってひたむきに走っていききたいと思います。



おいしい～!



魚がいっぱいだね



藍染め体験中です!



三保の松原を散策

# 中等部2学年だより

## 言葉の力

学年主任 大畑 輝明

言葉の中には、「がんばれ」とか「ありがとう」とか、人をうれしくさせたり、勇気を与えてくれたりするものがあります。そして、当然その逆の言葉もあり、人を傷つけ、苦しめる場合もあります。

皆さんは、ちゃんとそのようなことを考えて日ごろから言葉を使っているでしょうか。言葉の価値は人によって異なり、自分には何でもないことも、誰かにとっては重い意味を持っていたりします。

私が以前勤めていた学校に、教室に入れない生徒がいました。原因は、ある生徒の心ない言葉らしいのです。その言葉がずっと彼女を苦しめていたのです。その後、教室に来られるようになりましたが、きっと彼女はその言葉を忘れないでしょう。傷つけた方は忘れても、傷つけられた方は忘れることができないでしょう。

人を傷つけるのはとても簡単なことなのです。意識的でも、また無意識でも、言葉は人を傷つける時があります。

言葉は大きな力を持っているのです。人をうれしい気持ちにしたり、勇気を与えたりするように使って欲しいと思います。

## 別れと出逢い

堀川 翔平

2年A組 江東区立第一亀戸小学校出身

中等部に入学し、初めてのクラス替えが行われました。小学校でも何度かクラス替えがありましたが、今回のクラス替えも同様に、ずっと前からどんな友達ができるか不安でした。クラス替えの当日、旧担任の青木先生から新しいクラスが書かれた紙が配られました。その間、僕たちは顔を伏せて、先生の合図を待ちました。みんなで一斉に紙を見たときの驚きの声にはびっくりしました。クラスを移動するとき、1年間共に過ごしてきたB組の仲間と離れるのはさみしかったですが、新しい友達と会える嬉しさもあり、とても複雑な気持ちでした。

これから1年間、新しいA組の仲間と『仲良く助け合えるクラス』にしていきたいです。クラスには、まだ僕が知らない人もいますので、自分から積極的に話していきたいです。

## 中等部2年生になって

島谷 克樹

2年B組 豊島区立池袋小学校出身

僕は中等部2年生になって友人が増えればいいと思っています。1年生の時は、友人が少なくあまり会話ができなかったのが残念でした。2年生に進級してクラスが変わったので、これを機会に友人を増やして、学校生活をより楽しみたいです。

また、勉強も頑張りたいと思います。1年生では、それなりに良い成績でしたが、2年生の学習内容に追いついていけるか不安なので、早めに予習をして授業に困らないようにしようと思います。1年生の時よりも努力して納得できる成績を残したいと思います。

部活動は、物理化学部に所属し地学の研究をしているので、本格的な実験をしたいと思っています。



A組 集合写真



A組 どれ、どれ



B組 集合写真



B組 2年生も頑張るぞ

# 中等部3学年だより

## 新年度を迎えて

春が来て中等部にも新しい仲間が入ってきました。希望に目を輝かせた1年生を見ると、こちらの気も引き締まってくる気がします。3年生に進級し、いよいよ中等部の最高学年になりました。後輩たちの見本となり、中等部を引っ張っていけるよう、いい1年間のスタートを切ってください。

今回は中等部3年生になっての熱い気持ちを聞かせてもらいました!!勉強に、部活動に、そして日々の生活に、頑張ってくれることを期待しています。

### 中等部3年生になって

深谷 碧

3年A組 川崎市立王禅寺小学校出身

私は中3になって頑張りたいことがいくつかあります。

1つ目は今までよりもっと勉強に熱心になることです。中学1年生、2年生と、あまり真面目に勉強に取り組んでこなかったのが、中等部生活最後の今年こそちゃんと真剣に勉強に取り組みたいです。

2つ目は、体育祭、建学祭や合唱祭などの学校行事に積極的に参加することです。これまでの行事とは違って、今年の行事は全てが「最後」となってしまいます。自分の行動や発言に責任をもって、周りの友達とたくさん協力して、心に残るような最高の思い出を作りたいです。

そして、この1年は今までお世話になった人たちに恩返しをしていけるように精いっぱい努力して過ごして行こうと思います。

### 中3になっての心がまえ

益子 幸穂

3年B組 江戸川区立北小岩小学校出身

中3は中等部生活最後の学年なので、いろいろなことを楽しみたいです。クラス替えをして、3年間クラスが一緒の人や初めて同じクラスになった人がいて、今までとは違うクラスになるのだろうと思います。2年生のクラスがとても楽しかったので、それ以上のクラスになったらいいと思います。

体育祭や建学祭などの行事1つひとつが中等部最後の行事になるので、たくさんの思い出を作っていきたいと思います。また、中等部の最高学年になるので、身だしなみや生活態度に気を付けて、勉強もきちんと取り組んでいきたいです。

やり残して後悔するようなことがないように、中等部生活を送っていきたいです。



# 高校1学年だより

高校に入学して1か月がたちました。学校生活には慣れましたか？ 今月号は、高校1学年の先生方の自己紹介をします。下の写真はオリエンテーションの様子です。

学年主任・国語  
江口 淳二

鹿児島県の徳之島出身。妻に娘二人・祖父・祖母の6人家族。妻の実家にいるのでまるで「マスオさん」のような存在。部活動はサッカー部の顧問。教科は国語科です。

1組・英語  
小松原洋行

家でのおんぼろ料理を作ったり、観葉植物を眺めているのが好きな英語科の教員です。教室には緑を少しずつ増やして穏やかな雰囲気を作りたいですね。1年間宜しくお願いします。

2組・保健体育  
弘中裕美子

神奈川県出身、現住所は東京都大田区。植物好きな保健体育教員です。昨年度、良い思い出も恥ずかしい失敗も色々ありましたが、心機一転！自分をリセットして今年度1年がんばります。

3組・理科  
稲葉哲之介

静岡県の出身で、現在は都内の狭いアパートで1人暮らしをしています。暇な時間に科学雑誌を読むのが楽しみです。新入生の皆さん、よろしくお願いします。

4組・英語  
羽部真美香

松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えた、岐阜県大垣市の出身です。小学校のとき少しかだけアメリカに住みました。名前が蛇みたいなので沖縄出身と間違えられますが、父は北海道出身です。陸上競技部の顧問になりました。未熟者ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

5組・数学  
渡邊 聡

ものすごく汗っかきです。野球部の顧問になりました。授業も部活動も汗をかきながら、頑張っていきたいと思っています。生徒とは明るく楽しくときには厳しく関わっていきたくたいです。担当科目は数学です。

6組・英語  
中野 優子

千葉県出身で、海とスキューバダイビングが好きな英語教員です。今年度は女子バスケットボール部の顧問になりました。生徒の皆さん、一緒に部活動も勉強も頑張らしましょう！

7組・保健体育  
吉川 博人

サッカー部の顧問をしている保健体育科の教員です。1年生は9年ぶりなので新鮮な気持ちで頑張りたいと思います。

8組・理科  
住廣 郁子

体育科の先生だとよく間違われますが、担当は理科です。小さいながら男子バレー部の顧問です。声が大きいとよく言われます。勉強も部活動も生徒の皆さんの手本になるよう元気いっぱい頑張ります。

9組・地歴公民  
今井 貴志

名古屋出身です。無用に暑苦しいということで夏場は敬遠されます。剣道部の顧問をしておりますが趣味は作詞・作曲と釣りです。海でぼんやり釣り糸を垂れている時が至福の瞬間です。

10組・理科  
上松 未来

高校1学年の中で平均年齢を上げてしまう存在になってしまいました。軽音楽部の顧問です。ペースを持っています。バンドメンバー募集中です。今年度はゆとりをもって生活がしたいです。

学年所属・公民  
宮寫 孝一

生まれも育ちも高校(高輪台)も現住所も東京都港区です。港区のために高輪台のために授業(政経倫理)も野球も頑張ります。将来は港区長ですね。妻1、息子2、娘1でにぎやかに暮らします。

学年所属・数学  
皆川 勇太

去年から1人暮らしを始め、早いもので1年と何か月が経ちました。このさみしい生活が早く終わって2人暮らしができることを目標にしたいと思っています。

学年所属・英語  
若井 牧夫

名前とは異なり、昨年還暦を迎えた学年で最長老の存在です。孫も今年1歳の誕生日を迎え、毎月孫の写真を撮るのが楽しみになっています。生徒の皆さんが英語が好きになるよう頑張ります。



学年主任のお話



薬物についてしっかり勉強しました



血圧測ります



身長は伸びたかなあ

# 高校2学年だより

## 素直な心を持つ

学年主任 高橋 光太

2年生の皆さん、この飛躍を手にする頃は新しいクラスにも慣れて楽しく学校生活を送られていることと期待しています。これから2年間一緒に過ごす仲間達ですから、早く溶け込んで充実した2年間にして欲しいと思います。

さて、今回は「素直な心」について少し書きたいと思います。ひとえに素直な心といってもなかなか難しいものですが、私が言いたいのは「物事を客観的に見て欲しい」ということです。これからの学校生活や人生の中で、自分の力や考えだけでは乗り越えられないような問題に何度も直面します。その際に、自分の意見つまり主観だけで押し通しても解決できないことや間違った方向へ進んでしまうことが多々あります。しかし、他人の意見に耳を傾けたり新しい情報を取り入れる素直な心があれば、意外と解決の糸口が見えることがあるのも事実です。今この話を読んで、「そうか、そのような

考え方もあるんだな」と思ってくれた人は、素直な心へ一歩踏み出しています。素直な心になることは、非常に難しいことです。常に自分の心に念じていないとできないことです。それを何日も何年も心に念じ続けることで、やっと達成できる心の持ち方です。私もまだまだ自信を持って素直な心を持っているとは言えません。これから、日々心がけて生活していくつもりです。

素直な心でものを見ることができるといことは虚心坦懐にものを見るということです。赤い色は赤く見える、黒いものは黒く見える。つまり物事の本質がわかることになります。そういう心を養っていくと、正しくものを見ることができ。だから、これから色々な人の話を聞いたり、自分で本を読んで考えたりする場合も素直な心で判断するように心がけてください。自分の主観だけで判断すると往々にして間違ってしまうことが多いと思います。素直な心で物事を見るように心がけましょう。

## 新学期の様子





# 高校3学年だより

## もし高輪台の生徒が岩崎夏海の 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」を読んだら

3組学級担任 野口 大輔

何だかマトリョーシカ(入れ子)みたいな文構造の見出しになってしまいましたが、そういうタイトルの小説が、昨年末ダイヤモンド社から発行されました。大型書店などでも平積みされている本なので、見たことのある人も多いかもしれません。(装丁はいわゆる“萌え”系で、一見ライトノベル風です)

この本、残念ながら小説としてはあまり洗練されていません。もちろん作者の本業が放送作家であり、これが彼の処女作であることは考慮すべきなのでしょうが、それでもキャラクターの設定は甘くて感情移入しにくい、伏線を張りつばなしで収束しないまま終わっているし…。

ただ、これを経営学の入門書とみれば、なかなかの良著であると思います。都立高校の野球部マネージャー、みなみが「経営学の父」と呼ばれたP. F. ドラッカーの書いた『マネジメント』を参考にしながら部を甲子園に導くというストーリーなのですが、マネージャー(マネジメントする者)にとって最も大切な資質は真摯さであるなど、なかなか参考になる考え方が分かりやすく紹介されています。(ちなみに、高校野球ファンならずとも、主人公の名前がさる有名マンガのヒロインに由来していることはお分かりになるでしょう。そういえば、わが高輪台野球部の「勝利の女神」も“みなみ”先生でしたね!)

マーケティングを通じて野球部を「顧客に感動を与える」組織と定義したり、「ノーバント・ノーボール作戦」というイノベーションを起こしたりする件は、けっこうおもしろく

読めました。甲子園の開会式に臨むキャプテンが「あなたは、どんな野球をしてもらいたいですか?」とテレビ局のインタビュアーに応えるエピソードの一節は、この物語(ならびにドラッカー経営学)のエッセンスが詰め込まれていると思います。

奇しくも今春のセンバツでは久しぶりに兄弟校が(しかも2校!)甲子園の土を踏みました。わたしは自宅で応援していたのですが、テレビを見ながらふと、本学園の学務局担当理事(元本校校長)である蟹江秀明先生が以前とあるシンポジウムでこんな話をしていたことを思い出しました。

—わたしは付属の野球部が甲子園に出場したときに「僕たちは毎朝、本を読んでから試合に向かっていきます!」と胸を張って話せるような、そんな学園を創りたい—

相模&望洋のキャプテンが今回、NHKのリポーターに何を話したかは(オンエアされた分しか)知りませんが、きっと蟹江先生の気持ちは伝わっているのではないかなと、そう思います。

さて、皆さんはどうですか? 毎朝、読書をしてから授業に臨んでいますか?

もし、いつもあの10分間を無益に過ごしてしまっているという人がいたら、せめてこの文章だけでも読んでください。そして、学校生活の過ごし方について見直してみてください。それが、わたしたちからの願いです。

## 新学期の様子



## 「校章の歩み」を設置

このたび「高輪会」より、本校の歴代の校章を収めた「東海大学付属高輪台高等学校・中等部校章の歩み」を寄贈していただきました。高等学校の現在の校章は創立以来3代目となります。「校章の歩み」は、本校を訪れた卒業生の方々に懐かしい学生時代を思い起こしていただくとともに、在校生の皆さんに創設以来の本校の歴史を感じてもらいたいとの思いを込め、毎日目にするのできる生徒玄関ホールと総長・校長室の2カ所に設置いたしました。



校章の歩み ベース：木製(塗装仕上げ) W:800mm X H:400mm X D:25mm  
 文字：シート文字(金)  
 プレート：ステンレスヘアライン(文字：エッチング)1.0mm厚  
 校章：真鍮 金メッキ仕上げ(エッチング：色埋め)1.0mm厚  
 寄贈プレート：真鍮 金メッキ仕上げ(文字：エッチング)

## エコキャップ活動

みなさんは十分な食べもの、安心して住めるところ、オシャレな服、健康な身体、毎日の学習・・・これらを当たり前のように感じているかもしれませんが、恵まれた生活を送っているということに気づいていますか？世界の発展途上国には、栄養失調や予防できる感染症で命を落としたり、後遺症に苦しんだりしている子どもたちがたくさんいます。ワクチンさえあれば命が助かる子どもたちは、世界で一日に約6000人にも達しているそうです。そこで本校でも参加しているボランティア活動が「エコキャップ活動」です。とても小さなペットボトルのキャップでも800個集めると20円となり、ポリオワクチン一人分になります。このポリオワクチンは発展途上国に送られ、子供の命を救うことができます。

本校でも各クラスで積極的に取り組んでくれたおかげで(中には6000個以上も持ってきてくれたクラスがありました!)2008年11月から6万個以上のエコキャップを回収することができました。今年度も生徒会と福祉委員会が協力して引き続き実施していきます。捨ててしまえばただのゴミ。1573人のほんの少しの気遣いや思いやりが世界のこどもに届くよう、これからもご協力をお願いします。



## 昨年度の建学祭売上金をユニセフ募金へ

日本ユニセフ協会のユニセフハウス(品川)に、中等部・高校の生徒会執行部のメンバーで2009年度の建学祭の売上金¥214,666を寄付してきました。ユニセフ(UNICEF)とは、国連児童基金(United Nations International Children's Fund)の略称で、発展途上国にいる子供たちの救援活動している国連の機関です。協会の方からは「毎年、皆さんから高額な寄付をいただき、ありがとうございます!世界中の恵まれない子供たちの為に大切に使用させていただきます。」と大変感謝されました。その際、募金の使い道を聞くと、世界の150以上の地域で活動しているユニセフの活動費にあてられるそうです。たとえば、学校に通えない1億人以上の子供たちが学校に通えるよう支援をしたり、今年1月に発生したハイチ地震で被災した子供たちが

安全な生活ができる為に募金は使われます。私たち中高生が現地で直接お手伝いをするにはできませんが、私たちの売上金が世界の子供たちに少しでも幸せをもたらしてくれることを願っています。



# 高輪カップ 開催 男子バレーボール

2010年3月22日(月)に本校アリーナにて高輪カップが開催されました。本大会も第5回目を迎えることができました。東京、神奈川から今年度も多くのチームに参加していただきました。今年度、優勝した川崎市立西高津中学校は、川崎勢初の優勝チームとなりました。

## 予選リーグ戦

### Aコート

	貝塚	西高津	大森一	順位
貝塚		21-25	25-9	2
西高津	25-21		25-12	1
大森一	9-25	12-25		3

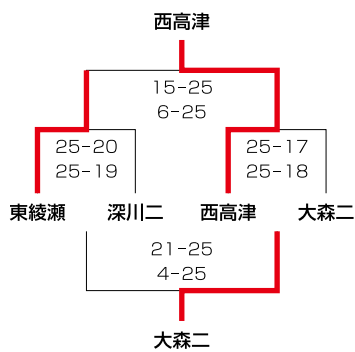
	東綾瀬	御徒町台東	足立九	順位
東綾瀬		25-13	25-23	1
御徒町台東	13-25		18-25	3
足立九	23-25	25-18		2

### Bコート

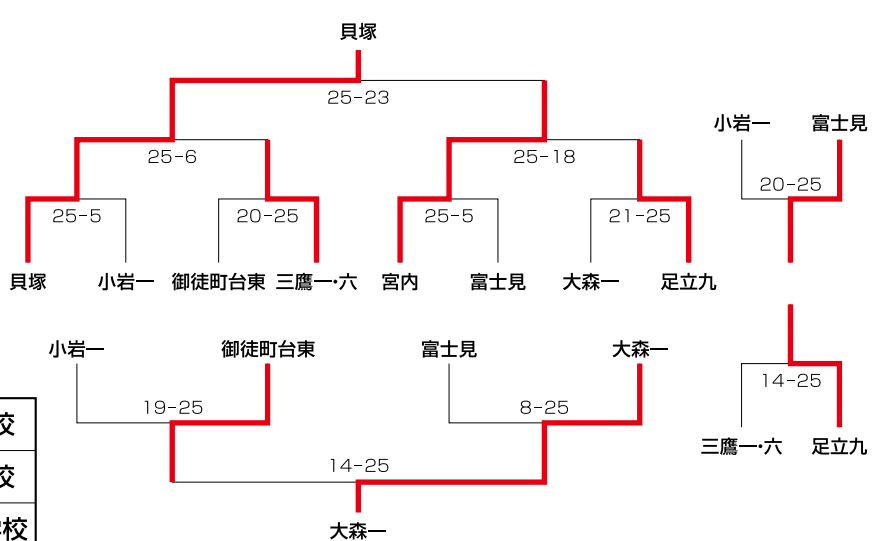
	大森二	宮内	小岩一	順位
大森二		25-15	25-5	1
宮内	15-25		25-12	2
小岩一	5-25	12-25		3

	富士見	深川二	三鷹一六	順位
富士見		24-26	24-26	3
深川二	26-24		25-6	1
三鷹一六	26-24	6-25		2

## 決勝トーナメント



## チャレンジマッチ



<b>優勝</b>	川崎市立西高津中学校
<b>準優勝</b>	足立区立東綾瀬中学校
<b>3位</b>	大田区立大森第二中学校

## 高輪カップを終えて

男子バレーボール部部长  
**青木 大地**

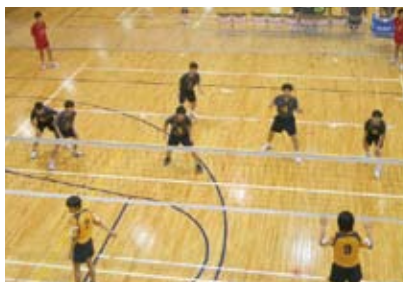
3年5組 大田区立大森第二中学校出身

高輪カップの目的は参加した中学生の技術の向上、親睦を深めていただくというものです。この大会には12チームの中学生が参加しました。

この大会は男子バレーボール部の部員だけで運営するものです。しかし、現在男子バレーボール部の部員は10人しかいません。そのような少ない人数で最初は不

安なことがたくさんありました。ですがこの10人という少ない人数で皆が一丸となり、協力しあって高輪カップを盛り上げることができて、中学生高校生共にとても有意義な1日になったと思います。

試合の勝敗は関係なく、どのチームも中学生は一生懸命試合をしていました。この大会を運営した私たち高校生は中学生から多くのことを学びました。今後も男子バレーボール部一同目標に向けて頑張っていきたいと思います。



熱戦が繰り広げられました



閉会式の様子



優勝した西高津中学校のメンバー

# SSH 関東近県合同発表会

2009年度のSSH活動のまとめとして、3月21日、「関東近県合同発表会」を本校で開催しました。関東エリアのSSH指定校12校が参加。午前はアリーナで口頭発表、午後には各教室でアクティブボードを用いて口頭発表、3階から5階までの廊下を使ってポスター発表を行いました。他校の先生や生徒と意見交換でき、これからのSSH活動への糧になったと思います。今年度も研究発表が数多くあります。更なる飛躍を期待しています。

## 緊張の克服

葉山 夕里愛

3年9組 江戸川区立小岩第五中学校出身

私はSSH関東近県合同発表会でアリーナの発表をしました。もともと人前に出て話をするのが、あまり得意ではありませんでした。だから発表が決まったときには、たくさんの人の前に立つことがとても嫌で「なぜ私たちのグループが選ばれたのだろう。緊張して発表なんてできるわけない。」などと思っていました。しかし春休みも学校に足を運び、何度も何度も練習を重ねました。そして本番当日。舞台上にあがるまでは緊張して心臓がバクバクしていましたが、あがってみると意外と冷静に発表ができていた自分がいました。たくさんの人の前に立って話をしなくてはいけなくて、やはり少し緊張しました。けれども思っていた程ではなく、練習通りにできたと思っています。今回の経験を通して、自分の納得がいくまで練習を積み重ねていけば、自信も一緒についてくるということがわかりました。この経験は将来の自分にとってとても役立つと思います。



たくさんの人の前ででの発表は緊張しました

## 他校との交流を通して

関口 佳祐

3年9組 北区立紅葉中学校出身

今回、関東近県SSH合同発表会を行うにあたってたくさんの準備をしてきました。放課後に遅くまで残って実験を繰り返かえし何度もパワーポイントを作り直しました。関東近県SSH合同発表会は他校のSSHの実験を知ることのできる数少ない機会です。当日は東海大学付属高輪台を含めて関東近県の12校のSSHのある学校が集まりました。午前中の全体口頭発行では各学校の代表のグループが発表をしました。午後には分科会口頭発表とポスター発表を行い、僕は分科会口頭発表をしました。分科会口頭発表ではアクティブボードを使って実験について発表しました。僕たちのグループはメダカについての実験をしたので他校でメダカを使った実験をしている所を見なかったですが、時間の関係で見られなかったのはとても残念です。今回他の学校の発表をたくさん聞いて同じ高校生のSSHでも考え方や実験方法が全然違ってとてもためになったと思います。この関東近県SSH合同発表会で学んだことを3年の課題研究で生かして頑張りたいです。



アクティブボードをつかった口頭発表

## 失敗は成功のもと

吉見 亮祐

3年9組 横浜市立平戸中学校出身

僕達は1年半かけて「音の吸収」について調べて行き、その途中結果を発表しました。この発表会に向けての準備段階での苦労は、ちゃんと結果が出なかったことです。最初は関係式を導くことを目標にして実験をしていましたが、再現性がとれなく、また原因も解りませんでした。発表しての感想は、初めて面識のない人達に発表して緊張しましたが、とてもいい経験になり、ためになったと感じました。実験の結果も出ず、原因も解らなかったので、それを尋ねたところ、たくさんの意見を保護者の方や他校の生徒さん等からいただくことができました。全体の感想は、皆よく調べていて難しい質問にも答えられていますごいなと思いました。また質疑応答の時間が終わっても、個人的に質問をしている人もいてとても感心しました。私としては自分達の成果を発表し、新しい発見もあったのでいい発表会になったのではないかなと感じました。



ポスター発表では、質疑応答が勉強になりました

## 改めて思うこと

高木 悠亮

2年9組 川口市立西中学校出身

今回の関東近県合同発表会で、今まで体験できなかった大勢の人の前で発表することができました。貴重な体験だったと改めて感じた時間でした。

科学体験旅行とは、自分にとって当たり前なことだと思っていました。しかし、発表の準備を進める中であの4日間は今になって、一緒に講義を受けた友、色々とサポートしてもらった先生方、お世話になった施設の方々、企業の方々との講義を体験したことを発表することで、改めて自分は有意義な時間を過ごせたのだと思いました。

そこで、僕は「この貴重な時間を他の学校の先生方や生徒に伝えたい、そして科学体験旅行は素晴らしいことだった」と感じてもらう発表をしたいと思いました。発表の後、ある学校の先生が、「いい体験をすることができたね。」と声をかけてくれました。僕は、伝えたいことが伝わってうれしかったです。発表をしてよかったと思いました。

僕はこの発表をすることでまた成長できたと思います。なぜなら「人に伝える」という発表ができたからです。僕はこの発表を通して学んだことをこれからのSSH活動で活かせるようにさらに努力をしていきたいです。



大きな発表会に初めて参加しました

## 参加校

東京都立戸山高等学校

埼玉県立浦和第一女子高等学校

千葉県立柏高等学校

芝浦工業大学柏高等学校

福島県立相馬高等学校

早稲田大学高等学院

早稲田大学本庄高等学院

埼玉県立川越高等学校

埼玉県立川越女子高等学校

埼玉県立大宮高等学校

玉川学園高等部

東海大学付属高輪台高等学校

## TOKAI キャンパスメッセージ

### 組み込みソフトウェアって何？

情報通信学部 組み込みソフトウェア工学科 主任教授 吉田 正廣

私たちの身の回りにはテレビ、炊飯器、携帯電話などのさまざまな電化製品があります。私たちはこれらの電化製品を活用して便利で快適な生活をしています。例えば、今日の携帯電話は、単に友人と話をしたりメールの交換をしたりするだけでなく、写真を撮ったり、ゲームをしたりすることができます。どうしてこのように便利な機能が実現できるのでしょうか。実は、これらの電化製品にはコンピュータ(マイクロコンピュータと呼ばれています)が内蔵されていて、そのコンピュータによって、各種の電化製品の便利な機能を実現しているのです。そのマイクロコンピュータを動かすソフトウェアのことを私たちは組み込みソフトウェアと呼んでいるのです。

組み込みソフトウェアは電化製品の機

能を実現するだけでなく、車や旅客機などにも用いられています。したがって、組み込みソフトウェアには高度な信頼性が要求され、組み込みソフトウェアを開発する技術者には大きな社会的責任と倫理観が求められるのです。このため、組み込みソフトウェア工学科では、優れた倫理観と責任感を身に付け、世界で活躍できる優秀な研究者・技術者を育成したいと考えています。私たちの学科には組み込みソフトウェアについて学ぶ最先端の教育設備が設置されています(写真を参照)。学生諸君はこれらの充実した教育設備を活用して高度な組み込みソフトウェア開

発技術を学んでいます。

多くの高輪台高等学校出身者が私たちの学科で学んでいます。彼らは勉強だけでなく、学生会活動、クラブ活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、充実したキャンパスライフを送っています。



最先端の教育設備が整った組み込み実験室

## お知らせ

### 高等学校の行事 5月8日(土) 校外活動・スポーツ大会

1年

#### 東海大学湘南校舎見学

進路について考え、  
これからの学習を  
充実させよう!

2年

#### 本校総合グラウンドでの スポーツ大会

新しいクラスでの  
最初の学校行事で  
団結しよう!

3年

#### バーベキュー

卒業に向けて  
思い出を  
積み重ねよう!

**一斉公開授業**  
5月13日(木)

**漢検**  
6月4日(金)放課後  
全学年の希望者対象です。

**英検 6月12日(土)**  
中2・中3 は全員受験です。  
高校生は希望者対象です。  
CALLの授業を大切に!

## 行事予定

May 5月

June 6月

- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) みどりの日
- 5日(水) こどもの日
- 6日(木) 憲法記念講演(高1、1・2限目)
- 7日(金) 朝礼、短縮授業
- 8日(土) 校外活動(高1 東海大学湘南校舎見学 高3 バーベキュー)  
スポーツ大会(高2 総合グラウンド)
- 13日(木) 一斉公開授業① 学年集会(高1、中1)
- 15日(土) 第38回後援会定期総会  
第7回部活動後援会定期総会
- 18日(火) 校医相談日
- 20日(木) 生徒による授業評価アンケート①
- 22日(土) 高輪会役員会
- 25日(火) 前期中間試験(中等部 ~26日、高校 ~28日)
- 27日(木) スポーツ大会(中等部 午前、アリーナ)、授業(中等部 午後)
- 28日(金) 校外行事(中等部)
- 29日(土) 後援会委員総会①
- 31日(月) 教育実習(~6月18日)

- 1日(火) 東海大学付属推薦小論文試験(高3)  
小論文コンテスト(高1、高2)  
作文コンテスト(中等部)
- 2日(水) 朝礼、短縮授業、生徒総会(7限目)
- 3日(木) 剛健検診(高1、高2、中等部)
- 4日(金) 剛健検診(高2、高3)、漢検(希望者)
- 12日(土) 英検(中2、中3、高校希望者)、後援会学年懇談会
- 15日(火) 校医相談日
- 16日(水) 専門医によるカウンセリング
- 17日(木) 東海大学進学説明会(高2)
- 19日(土) 保護者会(高1、中1)
- 24日(木) 研修旅行(高2)(~29日)、  
4時限授業(高1、高3、中等部)(~6月30日)
- 25日(金) スポーツ大会(高3、総合グラウンド)、自宅学習日(高1)
- 26日(土) スポーツ大会(高1、総合グラウンド)
- 29日(火) 第2回中等部体育祭(総合グラウンド)
- 30日(水) 振替休日(高2)

### 部活動の様子(仮入部期間)



## 編集後記

母親として日本初の宇宙飛行士山崎直子さんを乗せた「ディスカバリー」が宇宙へ飛び立った。彼女が宇宙飛行士をめざしたきっかけは、中学3年のとき打ち上げ直後に空中爆発をしたスペースシャトル「チャレンジャー」の犠牲者に女性教師がいたことだったという。その後、念願の宇宙飛行士候補に選ばれて10年余り、ねばり強く初志を貫こうとする彼女を支えたのは、仕事をやめ家事と育児と介護まで引き受けた夫の大地さんだ。志を遂げる陰に、それを支える人びとがいることを、私たちは忘れがちである。大地さんにも拍手を贈りたい。ちなみに大地さんは東海大学航空宇宙学科の卒業生である。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>